

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
<p>1 放射能拡散シミュレーションを活かして</p>	<p>7月14日に町総合体育館で、「女川原発事故時の避難計画を考える」学習会が行なわれ、東京都市大学名誉教授、環境総合研究所の青山貞一氏が講演しました。福島第一原発事故と同程度の放射能放出があったものと想定し、風向き、風速、雨、地形等を考慮し、放射能拡散を予測すると、すべての自治体で高線量の汚染が想定され、県外への避難を検討せざるを得ないこと。立地自治体や、30キロ圏は帰還困難区域になり、住民は移住計画を想定せざるを得ないこと。その時の経済的損害は計り知れないことなど、多くのことを学びました。</p> <p>避難計画は作ればいいというものではないはずです。本当に役に立つかどうかです。</p> <p>そこで、次の点について伺います。</p> <p>(1) 本町の避難計画はどこまで進んでいますか。</p> <p>(2) 政府にSPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）の活用を迫るとともに、民間版SPEEDIをも活用して、避難計画を検討すべきでは。</p> <p>(3) 実動性のある避難計画の考え方は。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨	
2 特養施設の増設を	<p>私たちが行なった町民アンケート（2,400世帯配布、回収304通）では、多くのご意見、ご要望が出されました。その中で、医療・介護について取り組んでほしい内容として、特養施設の増設を望む声が多く寄せられました。</p>	
	<p>家族内で介護を必要とする人が複数いて、施設に頼りたくても、待機者が多いため、病院を転々と移らざるを得ない方や、一人暮らし、二人暮らしの高齢者にとっては、将来に不安をかかえており、施設入居を望む声も多く聞かれます。</p>	
	<p>そこで次の点について伺います。</p>	
	<p>(1) 本町の介護認定者の利用状況と相談内容は。</p>	
	<p>(2) 高齢化が進む本町にとって、特養施設の増設は必要ではないですか。</p>	
	<p>(3) 町の魅力づくりの一環として、福祉施設を充実させた雇用と福祉の町づくりを。</p>	
	<p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>	
	3 住民の声を活かした町づくりを	<p>多くの皆さんが待ち望んでいる災害公営住宅は、運動公園住宅から始まり、今後次々と、建設が予定されています。</p>

質問者 阿部 律子

質問事項	質問の要旨
	<p>特に、集合住宅内の植栽についてですが、植え始めはきれいであっても、その後の手入れや管理が不十分では、木や草は伸び放題、虫が発生するなど、住民からの苦情も聞こえてきます。</p> <p>人数の多い集合住宅においては、住民の方々と町との話し合いのもとでの管理が必要ではないでしょうか。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 集合住宅の植栽等の管理について、年間の維持費も含めて、どのようになっているのですか。</p> <p>(2) 集合住宅ごとの住民との十分な話し合いの中で、納得のいく形での管理運営を。</p> <p>(3) 町全体の植栽等の管理状況は。(例えば旭が丘等)</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>